

2024年度 世界プムセ選手権大会日本代表選考基準
兼 国際公式大会日本代表選考基準

2023年 9月26日
強化本部

1. 2024年度に派遣対象とする大会

- 2024世界プムセ選手権大会（2024年 中国・香港にて開催予定）
- 2024アジアプムセ選手権大会（2024年 ベトナムにて開催予定）

その他、今後開催が発表される国際公式大会、国際オープン大会およびオンラインでの国際公式大会についても、代表選考会を開催しない場合には、本選考基準を適用することとする。

2. 選考基準大会

- ① 規定プムセ U30以上の男女およびフリースタイル全カテゴリーの男女については「2023年度（第17回）全日本プムセ選手権大会」を選考基準大会とする。
- ② 規定プムセ カデット・ジュニアの男女については「2023年度（第8回）全国少年少女選抜大会」を選考基準大会とする。

3. 選考基準

- (1) 選考対象は、個人種目について全カテゴリー を対象とする。
また規定プムセに関してペア種目も対象とする。

	男子個人	女子個人
規定プムセ	カデット	カデット
	ジュニア	ジュニア
	Under 30	Under 30
	Under 40	Under 40
	Under 50	Under 50
	Under 60	Under 60
	Under 65	Under 65
	Over 65	Over 65
フリースタイルプムセ	Under17	Under17
	OVER17	OVER17

- (2) 強化本部において、後記（4）で定める選考対象選手の中から、後記（5）で定める選考基準に従って、派遣選手を選出する。ただし、後記（5）で定める選考基準に満たない場合には、当該カテゴリーの選手派遣を行わないものとする。
- (3) 前記（2）にて選出された選手につき、強化本部から理事会へ上程し、理事会にて承認後、当該選手が代表選手となる。

(4) 選考対象選手

2024年1月1日～12月31日の年齢区分による対象カテゴリーに出場した選手のうち以下のア、イいずれも満たす選手を選考対象選手とする。

ア 2. の選考基準大会に出場した選手

イ 下記の要件を満たす者

- ① 当協会に個人会員として登録されている者
- ② 日本国籍を有する者（2024年3月末時点で日本国籍を持つ選手に限る）
- ③ 国際大会でメダル獲得または入賞を目指せる全日本テコンドー協会の期待に応え得る競技力を持つ者
- ④ 全日本テコンドー協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守していること
- ⑤ 大会に出場できないスポーツ障害・疾病がない者
- ⑥ 全日本テコンドー協会強化計画に沿って活動できる者
- ⑦ NF強化指定選手として選考される意志を有する者
- ⑧ 国技院が定める段位または品位取得者

(5) 選考基準

ア 個人競技

「2024年度・世界プムセ選手権大会 兼 国際公式大会派遣選考基準大会」において決勝の得点が下記に定める基準点以上で1位となった者を代表選手候補とし、基準点以上で2位となった者を補欠選手候補として選出する。但し1位・2位となった選手でも、決勝の得点が下記の基準点未満である場合には国際競技力に乏しいと判断し、そのカテゴリーについては派遣しないこととする。

	カテゴリー	基準点
規定プムセ	カデット	6.4
	ジュニア	6.4
	Under 30	6.4
	Under 40	6.2
	Under 50	6.2
	Under 60	6.0
	Under 65	6.0
	Over 65	5.8
フリースタイルプムセ	Under17	5.0
	OVER17	

イ ペア競技

前記で選考された男女個人または、それに準ずる成績の者の中で、ペア編成により上位入賞を目指せると強化本部が判断した者。

個人カテゴリーで選出された選手、または選考には漏れたがそれに準ずる成績の者（ペアにおいては個人の技量よりもシンクロ率などの要素もあるため、単純な優劣よりも地域や所属も加味し強化できる環境の者を選考対象とした）の中で上位入賞を目指せると強化本部が判断した者とする。

ウ 複合種目が設定された場合について

単一の選手が予選と決勝で異なる種目を試技する競技設定（例：予選では規定pumseのみで得点を決定し、決勝へ進んだ8名の選手は規定pumse+フリースタイルpumseを試技して総得点を競う）となった場合は「2024年度・世界pumse選手権大会兼 国際公式大会派遣選考基準大会」におけるそれぞれの種目の上位入賞者の中から、予選通過を重視して選考する。

4. その他

U40以上の選手については、代表選手として派遣される場合にも、その費用は自己負担となります。

以上